

[成果情報名] 新たに登録される露地栽培が可能なレモン品種「璃の香」の長崎県における果実特性

[要約] 新たに登録される香酸カンキツ「璃の香」は、果皮は滑らかで浮き皮の発生がなく、かいよう病に強いレモン品種である。「ユーレカレモン」に比べ酸含量はやや少ないが、芳香な果実で大果となる。豊産性で種子の混入が少ないなど加工適性が高い。

[キーワード] 香酸カンキツ、「璃の香」、かいよう病、大果、加工適性

[担当] 長崎県農林技術開発センター・果樹研究部門・カンキツ研究室

[連絡先] (代表) 0957-55-8740

[区分] 果樹

[分類] 指導

[作成年度] 2014年度

[背景・ねらい]

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所で育成され、露地栽培が可能な香酸カンキツとして、新たな需要が期待できるレモン品種「璃の香」の果実形質を調査し、本県への適応性を明らかにする。

「璃の香」の来歴

品種名	交配組み合わせ	
璃の香	♀	♂
	リスボンレモン	× ヒュウガナツ

[成果の内容・特徴]

1. 果実重は230～300gと大果で、果形指数72～77の長球形の果実である(表1)。
2. 果皮は滑らかで浮き皮はなく、果皮色3～5程度の黄緑～橙黄色となる。着色は11月下旬に3分着色程度となり1月に完着する(表1、表2、写真2)。
3. じょうのう膜の硬さは中～やや軟らかく、種子の混入は少ない(表1、表2、写真2)。
4. レモン栽培で問題となるかいよう病の発生はほとんどみられない(表2)。
5. 「ユーレカレモン」より果肉歩合が高く、果皮も薄く、着色が始まる11月以降が成熟期で果実糖度は8～9程度、クエン酸含量5～6(g/100ml)程度となる(表1)。
6. 着花性は良く、豊産性で隔年結果性は小さい(表3)。
7. 樹姿は長円で、樹勢はやや強く未着果時の枝の伸長は旺盛であるが、着果が始まると枝しょうは短くなる(データ省略)。また、刺の発生は少なく、短い(表2)。

[成果の活用面・留意点]

1. 大果となるため、着果が多い部位は枝つり等が必要である。
2. 果面が薄く滑らかなことから寒害を受けやすいため、このような場所での植栽は避ける。
3. 豊産性で種子が混入しにくく、かいよう病に強いなど加工適性も高いことから、出荷時期などを考慮して用途に合わせた栽培が必要になる。
4. 本品種は、2014年5月15日に品種登録出願公表されている。

[具体的データ]

表1 「璃の香」の果実特性

年度	調査月日	作型	果形指数	果実重 (g)	着色歩合	果皮色 ^z	果皮厚 (mm)	果肉歩合 (%)	果肉色 ^z	含核程度 ^y		糖度 (brix)	酸含量 (g/100m ^l)
										完全	不完全		
2011	12月1日	露地	76	281	2.4	2.2	3.7	75.2	3.0	0.8	0.8	8.2	4.37
		ハウス	73	294	3.0	2.8	4.3	68.6	3.0	0.0	0.0	8.5	5.53
	12月23日	露地	76	295	5.9	3.4	4.1	76.7	3.0	0.6	0.6	8.4	3.96
		ハウス	71	307	8.0	3.8	4.8	66.9	3.0	0.6	0.4	8.6	5.42
2012	11月21日	露地	77	233	2.5	2.6	3.5	77.6	3.0	0.6	0.2	8.4	5.65
		ハウス	75	301	2.2	2.2	5.5	69.2	3.0	0.6	0.2	7.7	6.62
	12月21日	露地	75	249	7.1	4.2	3.0	78.8	3.0	0.8	0.2	8.8	4.78
		ハウス	70	296	8.2	4.8	4.1	69.9	3.0	0.4	0.2	7.9	5.19
		対照	66	235	7.6	4.2	5.8	59.1	3.0	0.6	0.2	8.2	6.45
2013	11月21日	露地	72	276	1.6	1.6	3.8	76.9	3.0	0.6	0.2	8.4	5.14
		ハウス	73	244	4.0	2.8	3.8	73.7	3.0	0.4	0.2	8.6	5.12
	12月20日	露地	74	270	7.0	4.0	3.2	77.0	4.0	0.4	0.0	8.5	4.99
		ハウス	77	259	10.0	4.4	3.4	74.4	4.0	0.4	0.6	8.6	5.51
		対照	77	149	8.6	4.4	4.0	70.8	4.0	0.2	0.2	8.6	6.31
2014	11月21日	露地	75	229	2.1	2.2	3.0	78.3	3.0	0.5	0.4	8.4	5.45
		ハウス	78	214	3.4	2.8	3.1	78.7	3.0	0.6	0.4	8.9	5.94
	12月19日	露地	76	254	7.6	3.8	2.8	76.9	4.0	0.2	0.4	8.4	5.57
		ハウス	76	255	9.2	4.8	2.8	79.0	4.0	0.2	0.2	9.1	6.31
		対照	80	198	4.4	3.8	3.7	65.7	4.3	0.8	0.2	8.4	6.82

^z 果皮色、果肉色はレモン色系カーチャート値

^y 種子数は、階級別に調査 0: 無種子 1: 5粒以下 2: 6~10粒 3: 11粒以上

^x ハウスは、無加温で管理

w 対照は、ユーレカレモン (少加温ハウス)

表2 「璃の香」の果実特性および樹体特性

作型	果皮			じょうのう		肉質	香り 量	果汁量	かいよう 病	枝梢の刺	
	色	粗滑	剥皮 浮き皮	分離	硬さ					多少	長さ
露地	黄緑~橙黄	滑	難	無	易	中~やや軟	やや硬~中	中	中	無	少 短
ハウス	黄	滑	難	無	易	中~やや軟	やや硬~中	中~やや多	中	無	少 短
対照 ^z	黄	滑	難	無	易	中~やや軟	中	やや多~多	中	無	少 中

^z 対照は、ユーレカレモン(少加温ハウス)

表3 「璃の香」の着花・新しょう量と着果数の年次別推移

年度	着花量 ^z	新しょう量 ^y	着果数 ^x	
	(1~5段階)	(1~3段階)	(個/樹)	(個/m ³)
2011	4.0	2.0	77	4.1
2012	4.0	2.0	154	8.3
2013	4.0	2.0	194	7.9
2014	3.0	2.0	290	9.6

^z) 1極少、2少、3中、4やや多、5多の達観で評価

^y) 1少、2中、3多の達観で評価

^x) 着果数は、11月調査



写真1 「璃の香」の結実状態

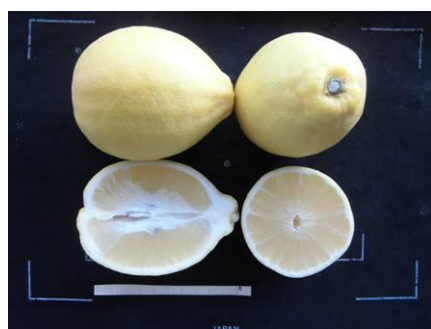


写真2 「璃の香」の果実断面

[その他]

研究課題名：次世代長崎カンキツの育成

予算区分：県単

研究期間：2014~2018年度

研究担当者：古川 忠